

## 経済学部

### 経済学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー

#### 経済学科

- ▣ 経済学科について
- ▣ 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- ▣ 2. 標準配当表
- ▣ 3. 履修上の注意
- ▣ 4. 経済学部・経済学英語特修プログラム（Faculty of Economics、Economics in English Program）について
- ▣ 5. 開講科目担当表

#### 経営学科

- ▣ 経営学科について
- ▣ 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- ▣ 2. 標準配当表
- ▣ 3. 履修上の注意
- ▣ 4. 経済学部・経営学英語特修プログラム（Faculty of Economics、Management in English Program）について（17年次生以降対象）
- ▣ 5. 開講科目担当表

#### 経済学部早期卒業制度について（SPSFコースを除く）

# 経済学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー

## [教育研究上の目的]

経済学と経営学及びその関連科目の幅広い学習を通じて、現代社会における経済的活動と社会的問題について論理的に考える力を養うこと

## [人材養成の目的]

グローバル社会に即した感覚と社会的責任や倫理を備え、経済学と経営学の幅広い基礎的知識と専門的知識を基盤とする高度な問題解決能力を有し、国内外で活躍できる人材を養成すること

## [ディプロマ・ポリシー]

キリスト教ヒューマニズムの精神を基盤とし、「広い視野と先見性をもち、国際的なリーダーとなる人材を育成する」という学部教育理念のもと、21世紀の高度な知識基盤型の社会においてリーダーとして活躍し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的として、本学部は学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 経済学と経営学の基礎および専門知識
2. 情報処理能力、コミュニケーション・スキル、問題解決能力
3. 早期卒業においては、高い問題意識と自己管理能力をもち、早期に社会において活躍する力

## [カリキュラム・ポリシー]

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、「叡智が世界をつなぐ」という大学ミッションと学部教育理念のもと、クラスを単位とした導入教育、専門科目の基礎と関連づけた少人数教育、専門性を養う講義、および教員と学生が相互に顔の見える関係での演習を核とする基幹教育や外部機関と連携した多彩な実践的教育によって、理論と現実をバランスよく学ぶ目的で、次の趣旨を盛り込んだ科目からなるカリキュラムを編成しています。

1. 必修科目・概論による導入教育を通じて、経済学と経営学の基礎的知識を修得させる。
2. 基礎セミナーやアクティブラーニング・セミナーなどの少人数教育を通じて、経済学と経営学の理論的な知識を深く掘り下げる修得させる。
3. 専門科目と演習の基幹教育を通じて、学生の知的な関心に沿って専門性の到達度を向上させ、理論と現実のバランスのとれた知識と問題解決能力を高める。
4. 外部との連携講座を通じて、現実に即した多用な実践的知識を修得させる。
5. 英語特修プログラムを通じて、国際的な視野で議論できるようする。

## 経済学科

---

### 経済学科



- 経済学科について
- 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 2. 標準配当表
- 3. 履修上の注意
- 4. 経済学部・経済学英語特修プログラム（Faculty of Economics、Economics in English Program）について
- 5. 開講科目担当表

# 経済学科について

## 〔教育研究上の目的〕

演習・英語による講義などの少人数教育及びミクロ・マクロ経済学などの基礎教育において、経済理論の基礎知識を深く掘り下げながら習得し、現代社会の経済課題について論理的・実証的に分析すること

## 〔人材養成の目的〕

日々の社会問題・現象を経済学的な視点から分析し、自前の概念装置により社会を評価する能力を国際的な場で活かせる人材を養成すること

## 〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 経済学的な視点の根幹を成すミクロ経済学・マクロ経済学の考え方や概念について理解し、自分の言葉で説明する能力
2. 経済学の知識を土台として、概念装置としての「モデル」を自ら構築し、現代社会における現実的課題を理解し、課題解決の方法を考える能力
3. 多様な社会経済現象について、情報処理の知識と技能を駆使して、データに基づく統計的分析を遂行する能力
4. 高いレベルのコミュニケーション・スキルを身につけ、国際的な場でリーダーシップを発揮して課題解決に貢献する能力
5. 学生一人一人の個性（知識、能力、興味など）に応じて、現代社会で活躍できる高い専門性を修得する能力

## 〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、次のとおりカリキュラムを編成しています。

1. 複数の専任教員が担当する必修科目（A群科目：Introduction to Economics、ミクロ経済学A、マクロ経済学A・B）を通して、経済理論の基礎的知識を深く掘り下げながら修得させる。
2. モデル構築の基礎となる数理分析の知識を学ぶための経済数学科目「経済数学解析I・II」、ミクロ経済学あるいはマクロ経済学の応用科目である選択必修科目において社会経済現象を「モデル」として記述して分析する方法を学び、論理的思考能力を修得させる。
3. 情報処理に関する科目（統計学I・II、計量経済学I・II、データ分析演習など）を通して、データに基づく統計的分析能力を修得させる。
4. アクティブラーニング・セミナーと演習（ゼミ）では少人数のディスカッションやグループ学習を行い、他者と協力して課題を解決するためのコミュニケーション・スキルを修得させる。
5. 学生が国際的な場で活躍できる英語でのコミュニケーション・スキルを身につけられるように、英語で提供される専門科目（ECOE : Economics Courses Offered in English）を選択必修科目に設置し、また一定の条件を満たした学生にプログラム認定を行う経済学部・経済学英語特修プログラム（Faculty of Economics、Economics in English Program）を設ける。
6. ディプロマ・ポリシーで目標としている共通の基礎的な知識と能力を基盤として、さらにそれぞれの学生が自らの特性や興味にあった専門性を獲得することを支援するために、より専門性の高い経済学の科目に加え、経営学や他学部他学科科目を含む多様な専門科目を選択できるようにする。

## 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

### 22年次生以降

#### 全学共通科目

必修	8単位	[キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
選択必修	6単位	[キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
選択	12単位	
合計	26単位	

#### 合計

合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
----------------------	-------

#### 語学科目

必修	4単位
合計	4単位

#### 学科科目

合計（語学科目選択必修4単位、必修科目8単位、選択必修科目30単位、選択必修科目および選択科目52単位）	94単位
--	------

### 17～21年次生

#### 全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位（高学年向け教養科目2単位含む）	
合計	26単位	

#### 合計

合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
----------------------	-------

#### 語学科目

必修	4単位
合計	4単位

## 学科科目

合計(語学科目選択必修4単位、必修科目8単位、選択必修科目30単位、選択必修科目および選択科目52単位)	94単位
--	------

## 2. 標準配当表

[経済学科] 標準配当表

22次生以降

区分		1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(8単位) 必修	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1						
		身体のリベラルアーツ	1						
		思考と表現	2						
	(6単位) 選択必修	データサイエンス概論	2						
		課題・視座・立場性を考える	2						
		キリスト教人間学	2						
	(12単位) 選択			高学年向け科目				4	
		※ 1年次は各学期4単位まで履修できる							
		※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる（注1）							
※※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される									

○ 語学科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	(4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2						
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2						

○ 学科科目

区分		1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	(4単位) 語学科目選択必修	英語以外の指定された同一言語（注1）	4						
		INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	マクロ経済学B	2				
		ミクロ経済学A	2						
	(30単位) 選択必修	マクロ経済学A	2						
		選択必修科目から30単位以上を修得する。							
	(52単位) 選択	選択必修科目および選択科目（分野1【専門科目・経済系】）から28単位以上、選択科目（分野1【専門科目・経済系】および分野2【専門科目・経営／法律系】）から24単位以上を修得する。他学部他学科科目・課程科目（実習を除く）・全学共通SAIMSプログラム科目（注2）の単位を取得した場合、最高12単位までを選択科目分野2の単位として算入することができます。ただし、SAIMSプログラム科目以外の全学共通科目は除く。							

注1：学科ごとの指定言語および語学科目の履修方法については、2025年度履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目の履修上の注意を参照。

注2：SAIMSプログラム科目については、2025年度履修要覧【学部科目編】-グローバル教育センター-実践型プログラムを参照。

## 〔経済学科〕標準配当表

18~21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(必修) ウエルネスと身体	2						
	(選択必修) キリスト教人間学	4						
	(選択) ※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）は4単位まで卒業単位に充当できる（注3） ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる（注1）						高学年向け教養科目	2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	(必修) ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2						

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	(語学科目選択必修) 英語以外の指定された同一言語 (注1)	4						
	(必修) INTRODUCTION TO ECONOMICS マイクロ経済学A マクロ経済学A	2 2 2	マクロ経済学B	2				
	(選択必修) 選択必修科目から30単位以上を修得する。							
	(選択) 選択必修科目および選択科目（分野1【専門科目・経済系】）から28単位以上、選択科目（分野1【専門科目・経済系】および分野2【専門科目・経営／法律系】）から24単位以上を修得する。他学部他学科科目・課程科目（実習を除く）・全学共通SAIMSプログラム科目（注2）の単位を取得した場合、最高12単位までを選択科目分野2の単位として算入することができる。ただし、SAIMSプログラム科目以外の全学共通科目は除く。							

注1：学科ごとの指定言語および語学科目の履修方法については、2025年度履修要覧「学部科目編」-語学科目-語学科目の履修上の注意を参照。

注2：SAIMSプログラム科目については、2025年度履修要覧「学部科目編」-グローバル教育センター-実践型プログラムを参照。

注3：17年次生まで適用。

### 3. 履修上の注意

卒業に要する科目、単位数の最低基準（必修科目、選択必修科目、選択科目）等についてはこの要覧を注意深く読み、各自の履修計画には十分気をつけること。

#### ①学科科目の所要単位数に関する注意

1. 選択必修科目に指定された学科科目はできるだけ多く履修することが望ましい。
2. 演習については、経済学科の演習の代わりに、経済学科SPSFのRESEARCH SEMINAR、経営学科の演習、および経営学科SPSFのRESEARCH SEMINARを選択必修科目として履修することができる。
3. 選択必修科目で、卒業に必要な指定単位数を修得した場合、その超過分は選択科目として認められる。また、選択科目分野1で卒業に必要な指定単位数を修得した場合、その超過分は分野2として認められる。同一科目は2度履修しても、卒業に必要な単位数として認められるのは、1科目分のみである。
4. 同一科目とは、①科目名が同じ、②科目名が違っても要覧に同一科目とみなす等の記載があるものとする。

#### ②履修年次に関する注意

1. 全学共通選択科目は、各年次において任意に履修してさしつかえない。
2. 語学科目について  
語学科目（必修）および語学科目（選択必修）は、1年次のうちに修得することが望ましい。語学科目選択必修（英語以外の指定された同一言語）については、2025年度 履修要覧[学部科目編] 語学科目 を参照して履修すること。
3. 選択必修および選択の学科科目の履修年次については、開講科目担当表の中に示されている履修年次およびナンバーリングのレベルを標準とする。
4. 演習について  
各演習の履修年次は以下の通りとする。

	履修年次
演習1 またはRESEARCH SEMINAR 1	3年次
演習2 またはRESEARCH SEMINAR 2	3年次
演習3 またはRESEARCH SEMINAR 3	4年次
演習4 またはRESEARCH SEMINAR 4	4年次

演習は同じ教員が担当するものを履修すること。また、「演習2」は「演習1」を、「演習3」は「演習2」を、「演習4」は「演習3」を修得した者が履修できるものとする。

5. 演習を履修する者は同時にRESEARCH SEMINARを履修することはできない。
6. 演習と同様に、RESEARCH SEMINARを履修する場合にも、同じ教員が担当するものを履修すること。また、「RESEARCH SEMINAR 2」は「RESEARCH SEMINAR 1」を、「RESEARCH SEMINAR 3」は「RESEARCH SEMINAR 2」を、「RESEARCH SEMINAR 4」は「RESEARCH SEMINAR 3」を修得した者が履修できる。

#### ③学科科目に関する注意

1. 開講科目担当表に記載されている科目以外の科目の単位修得について  
他学部他学科科目・課程科目（実習を除く）・全学共通SAIMSプログラム科目の単位を修得した場合、最高12単位までを選択科目分野2の単位として算入することができる。

2. 下記の経営学科開講科目は経済学科の学生が履修することはできない。経営学科必修科目のすべて、経営学科選択必修科目「経済学総論I」「経済学総論II」、「ビジネス・エコノミクスI（経営学科）」および「ビジネス・エコノミクスII（経営学科）」

### 3. 前提科目制について

経済学科の学生が前提科目を設けている科目を履修する場合には、履修登録までに次の条件を充たしていかなければならない。この条件を充たしていない学生が、誤って前提科目を設けている科目を履修した場合、卒業要件に支障が生じることがあるので、履修登録には十分注意すること。

#### 〈経済学科生前提条件〉

「INTRODUCTION TO ECONOMICS」「ミクロ経済学A」「ミクロ経済学B」「ミクロ経済学C」「マクロ経済学A」「マクロ経済学B」のうち4科目以上の単位を修得していること。加えて、科目ごとに前提科目が設定されている科目があるので、開講科目担当表の備考欄を参照すること。

経営学科生は「経済学総論I」「経済学総論II」の2科目を修得していることが望ましい。

編入生・転部生・再入学生・学士入学生には前提科目制は適用しない。これらの学生が以下の前提科目を設けている科目的履修登録を希望する場合には、事前に学事センターに申し出ること。

〔前提科目を設けている科目〕	
選択必修科目（B群） 計量経済学I 計量経済学II 国際貿易論I 国際貿易論II 金融論I 金融論II 財政学I 財政学II 経済発展論 労働経済学I 労働経済学II ビジネス・エコノミクスI（経済学科） ビジネス・エコノミクスII（経済学科）	選択科目（C-1群） 中級ミクロ経済学 中級マクロ経済学

#### 〈ビジネス・エコノミクスII（経済学科）の前提条件〉

「ビジネス・エコノミクスII（経済学科）」を履修するには、「ビジネス・エコノミクスI（経済学科）」を履修していること。

### 4. A・B・C各群に関する注意事項

科目履修度（必修科目、選択必修科目、選択科目）は、単位修得年度の履修要覧にしたがう。また、同一科目対照表および同内容科目対照表を必ず参照して重複履修をしないように注意すること。なお、カリキュラム変更により、入学年次によって全学共通科目および学科科目において科目履修度が違う科目があるので、十分注意すること。

### 5. 必修科目の修得単位として読み替え可能な科目

(1) 学科の選択必修科目であるINTRODUCTION TO MICROECONOMICSの単位は、ミクロ経済学Aの単位に読み替えることができる。ただし、その場合には、INTRODUCTION TO MICROECONOMICSで修得した単位は必修科目の単位として認められ、選択必修科目の単位としては認められない。

(2) ミクロ経済学Aの単位を修得した上でINTRODUCTION TO MICROECONOMICSの単位を修得した場合にのみ、INTRODUCTION TO MICROECONOMICSの単位は選択必修科目の単位として認められる。

(3) 学科の選択必修科目であるINTRODUCTION TO MACROECONOMICSの単位は、マクロ経済学Aの単位に読み替えることができる。ただし、その場合には、INTRODUCTION TO MACROECONOMICSで修得した単位は必修科目の単位として認められ、選択必修科目の単位としては認められない。

(4) マクロ経済学Aの単位を修得したうえでINTRODUCTION TO MACROECONOMICSの単位を修得した場合にのみ、INTRODUCTION TO MACROECONOMICSの単位は選択必修科目の単位として認められる。

## ④転部科学生が転部科以前に修得した経済学学科科目の単位認定に関する取扱基準

転部科以前に修得した経済学科の学科科目の単位認定は20単位を限度とする。

## ⑤年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。



(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計 (単位)
26	26	44	26	26	44	26	26	44	26	26	44	176



※春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

前学期までに教職課程・学芸員課程の履修申込手続きをした3年次生以上の者で、課程科目の履修により、登録単位数が学期別および年間最高履修限度を超えてしまう場合は、事前に許可を得ておかなければならぬ。履修登録前までに学科長に相談すること。

## ⑥科目のナンバリング

開講科目担当表に記載された経営学科開講科目のナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照すること。

分野名省略	分野名（英語）	分野名（日本語）
ECN	Economics	経済学
MAN	Management	経営学
LAW	Law in general	法律一般
TCP	Teacher-training Course Program	教職科目

## ⑦SPSFコース開講科目の履修に関する注意

「開講科目担当表」の「備考」欄に「SPSFコース科目」の表記がある科目は、語学要件の指定や履修登録手続きが異なる場合がある。同表の欄外に履修条件等を記載しているので、必ず確認のうえ、履修すること。

## ⑧同一科目対照表

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなし、これらの科目を重複して履修しても、卒業要件として認められるのは1科目のみである。

変更前	変更前	変更前	変更前	変更後	変更後	変更後	変更後
科目コード	科目名	単位数	開講年度	科目コード	科目名	単位数	開講年度
498009	INTRODUCTION TO DATA ANALYSIS	2	~2023	498040	INTRODUCTION TO	2	2024~

					ECONOMETRICS		
498029	ECONOMICS OF SOCIAL POLICY	2	~2023	498042	INTERMEDIATE MICROECONOMICS	2	2024~
498028	QUANTITATIVE ANALYSIS OF SOCIAL ISSUES	2	~2023	498041	INTERMEDIATE ECONOMETRICS	2	2024~
498030	SPSF SEMINAR: MICROECONOMICS 1	2	~2023	498043	RESEARCH SEMINAR 1	2	2024~
498031	SPSF SEMINAR: MICROECONOMICS 2	2	~2023	498044	RESEARCH SEMINAR 2	2	2024~
498032	SPSF SEMINAR: MICROECONOMICS 3	2	~2023	498045	RESEARCH SEMINAR 3	2	2024~
498033	SPSF SEMINAR: MICROECONOMICS 4	2	~2023	498046	RESEARCH SEMINAR 4	2	2024~
498034	SPSF SEMINAR: MACROECONOMICS 1	2	~2023	498043	RESEARCH SEMINAR 1	2	2024~
498035	SPSF SEMINAR: MACROECONOMICS 2	2	~2023	498044	RESEARCH SEMINAR 2	2	2024~
498036	SPSF SEMINAR: MACROECONOMICS 3	2	~2023	498045	RESEARCH SEMINAR 3	2	2024~
498037	SPSF SEMINAR: MACROECONOMICS 4	2	~2023	498046	RESEARCH SEMINAR 4	2	2024~
498024	PUBLIC ECONOMICS 1	2	~2022	498039	ECONOMICS OF MARKET FAILURES	2	2023~
498011	TOPICS IN MODERN MACROECONOMICS	2	~2021	498025	INTERMEDIATE MACROECONOMICS	2	2022~
407406	実践的データ分析	2	~2024	407407	中級計量経済学	2	2025~
408021	計量ファイナンス	2	~2021	408022	計量時系列分析入門	2	2022~
462300	中級マクロ経済学	4	~2021	462301	中級マクロ経済学	2	2022~
402070	PUBLIC ECONOMICS I	2	~2020	498024	PUBLIC ECONOMICS 1	2	2021~ 2022

498012	MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY I	2	~2020	498019	MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY 1	2	2021
498013	MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY II	2	~2019	498020	MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY 2	2	2020～2021
498003	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH I	2	~2019	498022	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH 1	2	2020～2022
498004	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH II	2	~2020	498023	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH 2	2	2021～2022
462113	貿易政策の経済分析	2	2019	462112	国際貿易論II	2	2020～
462112	国際貿易論II	2	~2018	462113	貿易政策の経済分析	2	2019
408204 408205	農業政策の経済学I 農業政策の経済学II	2 2	2015～2018	408207	農業政策の経済学	2	2019～
468042	マーケティング論特講I	2	~2024	468084	マーケティング論特講	2	2025～
467205	商法I	2	~2024	467206	商法	2	2025～
468006	公会計I	2	~2022	468011	公会計	2	2023～
438050	財務諸表論I	2	~2021	438051	財務会計I	2	2022～
438060	財務諸表論II	2	~2021	438061	財務会計II	2	2022～
433121	流通経済論	2	~2020	433122	流通論	2	2021～
468008	CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS	2	~2020	468068	CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS	4	2021～
437515	ORGANIZATIONAL BEHAVIOR I	2	~2019	468046	ORGANIZATIONAL BEHAVIOR	2	2020～
437611	ORGANIZATIONAL BEHAVIOR II	2	~2019	468047	ORGANIZATIONAL THEORY AND ANALYSIS	2	2020～
468021	STRATEGIC MANAGEMENT I	2	~2019	468052	STRATEGIC MANAGEMENT	2	2020～
468022	STRATEGIC MANAGEMENT II	2	~2019	468053	CORPORATE STRATEGY (ADVANCED)	2	2020～
468031	INTERNATIONAL BUSINESS I	2	~2019	468054	INTERNATIONAL BUSINESS	2	2020～
468032	INTERNATIONAL	2	~2019	468055	GLOBAL STRATEGY	2	2020～

	BUSINESS II				(ADVANCED )		
438004	FINANCIAL MANAGEMEN T I	2	~2019	468034	MANAGEMEN T ACCOUNTIN G 1	2	2020~
438005	FINANCIAL MANAGEMEN T II	2	~2019	468035	MANAGEMEN T ACCOUNTIN G 2	2	2020~
468004	FUNDAMENT AL OF ACCOUNTIN G I	2	~2019	468050	FUNDAMENT ALS OF ACCOUNTIN G 1	2	2020~
468005	FUNDAMENT AL OF ACCOUNTIN G II	2	~2019	468051	FUNDAMENT ALS OF ACCOUNTIN G 2	2	2020~
432040	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMEN T I	2	~2019	468044	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMEN T 1	2	2020~
432041	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMEN T II	2	~2019	468045	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMEN T 2	2	2020~
468000	GLOBAL MARKETING I	2	~2019	468048	GLOBAL MARKETING 1	2	2020~
468001	GLOBAL MARKETING II	2	~2019	468049	GLOBAL MARKETING 2	2	2020~
438113 438114	経営分析I 経営分析II	2 2	~2019	438115	経営分析	2	2020~

## ⑨同内容科目対照表

下記の科目は科目名、担当者が違っても同内容科目とみなすので重複履修することはできない。

科目コード	科目名	単位数	科目コード	科目名	単位数	適用年度
433460	マーケティング 戦略論I	2	468040	MARKETING STRATEGY 1	2	2021～
433461	マーケティング 戦略論II	2	468041	MARKETING STRATEGY 2	2	2021～
468067	国際会計	2	468062	INTERNATIONA L ACCOUNTING	2	2021～

## 4. 経済学部・経済学英語特修プログラム (Faculty of Economics、Economics in English Program) について

経済学科生は、2年次以降に経済学部・経済学英語特修プログラムに登録することができる。登録は年1回とし、3年次以降に登録を行った場合でも、登録前に修得したプログラム該当科目の単位と成績は、プログラム登録により、修了要件に含めることができる。

以下の修了要件を満たした学生には、申請により修了認定証（S）もしくは（A）を授与する。修了認定の申請方法は経済学科事務室に問い合わせること。

- 修了認定証（S）は（1）（2）（3）の全ての要件を満たすことで授与される。
- 修了認定証（A）は（1）（2）の要件を満たすことで授与される。

- 下記の対象科目（開講科目担当表に⑩もしくは⑪／日と記載）から20単位以上履修する
- そのうち成績の良い20単位の平均GPAが3.0以上であること
- TOEFLiBT 72以上、TOEIC 750以上、TEAP 334以上、IELTS 5.5以上、英検準1級以上のいずれかの英語修了要件を満たすこと

上記1.について、留学による修得単位換算で、選択必修（B群）に換算された単位は8単位まで含めることができる。  
詳細は経済学科事務室で確認すること。

### «プログラム認定対象科目»

<b>&lt;学科科目&gt;</b> 経済英語I (INTERMEDIATE) 経済英語II (INTERMEDIATE) 経済英語I (SPECIALIZED) 経済英語II (SPECIALIZED) TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION (2020年度以前) 特別講義 (THE ECONOMICS OF HEALTH SYSTEMS) (2017年度のみ開講) ECONOMICS OF INFORMATION AND UNCERTAINTYI (⑩／日) (※2) (2024年度以前) ECONOMICS OF INFORMATION AND UNCERTAINTYII (⑩／日) (※2) (2024年度以前)	<b>&lt;経営学科科目&gt;</b> CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS (2017全学共通科目・高学年向け教養科目、2018～経営学科科目)
<b>&lt;SPSFコース科目&gt;</b> INTERNATIONAL ECONOMICS AND BUSINESS CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT JAPANESE ECONOMY 1 INTRODUCTION TO MICROECONOMICS INTRODUCTION TO MACROECONOMICS GLOBAL DEVELOPMENT GOALS ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS GAME THEORY INTERNATIONAL FINANCE POVERTY IN THE GLOBAL ECONOMY ASIAN ECONOMY AFRICAN ECONOMY INTERMEDIATE MACROECONOMICS MATHEMATICS FOR ECONOMICS (※1) INTRODUCTION TO STATISTICS (※1) INTRODUCTION TO ECONOMETRICS INTERMEDIATE MICROECONOMICS INTERMEDIATE ECONOMETRICS ACTIVE LEARNING SEMINER 1 ACTIVE LEARNING SEMINAR 2 ECONOMICS OF SOCIAL SECURITY ECONOMICS OF MARKET FAILURES TIME SERIES ANALYSIS INDUSTRIAL ORGANIZATION ECONOMICS OF FINANCIAL MARKETS	<b>&lt;言語教育研究センター&gt;</b> ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE
	<b>&lt;基盤教育センター&gt;</b> ECONOMICS IN ENGLISH A ECONOMICS IN ENGLISH B ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B
	<b>&lt;国際教養学部国際教養学科&gt;</b> INTERMEDIATE MICROECONOMICS ECONOMIC ISSUES IN THE DEVELOPING WORLD INTERNATIONAL TRADE INTERNATIONAL FINANCE MONEY AND BANKING ECONOMIC ANALYSIS OF LABOR MARKETS DEVELOPMENT ECONOMICS ECONOMIC STATISTICS BUSINESS INTELLIGENCE ECONOMIC SURVEY OF CONTEMPORARY JAPAN ECONOMICS OF POVERTY ECONOMICS OF HEALTH AND HEALTH CARE POLICY STRATEGIC THINKING TOPICS IN FINANCE

APPLIED ECONOMETRICS  
APPLIED MACROECONOMICS  
APPLIED MICROECONOMICS  
LONG-RUN ECONOMIC GROWTH  
POLITICAL ECONOMY  
LABOR ECONOMIC  
INTRODUCTION TO DATA ANALYSIS (2023年度以前)  
ECONOMICS OF SOCIAL POLICY (2023年度以前)  
QUANTITATIVE ANALYSIS OF SOCIAL ISSUES (2023年度以前)  
SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH 1 (2022年度以前)  
(※1)  
SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH 2 (2022年度以前)  
(※1)  
GLOBAL ECONOMIC HISTORY (2022年度以前)  
PUBLIC ECONOMICS 1 (2022年度以前)  
MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY 1 (2021年度以前)  
(※1)  
MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY 2 (2021年度以前)  
(※1)  
HEALTH ECONOMICS (2021年度以前)  
GLOBAL HEALTH POLICIES (2021年度以前)  
TOPICS IN MODERN MACROECONOMICS (2021年度以前)

※1 2021年度以前に履修した学生も適用

① ※2 (㊱／日) とは、(English／日本語) で、教材はすべて英語、授業中使用言語は日本語の授業のこと。それ以外の科目は、教材も授業中使用言語も英語。

プログラム認定対象科目のうち、定員が設けられている抽選科目については、経済学英語特修プログラム登録者が優先されます。

## 5. 開講科目担当表

開講科目担当表[経済学科]

5. 開講科目担当表  
語学科目選択必修…4単位

履修度	科目コード	ナンパリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国语	備考
選択必修科目			英語以外の指定された同一言語	4			1~4		語学科目選択必修として英語以外の指定された同一言語を履修すること。

学科科目A群(必修科目)…8単位

履修度	科目コード	ナンパリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国语	備考
<b>(基礎科目)</b>									
必修科目 学科科目A群	401102	ECN101-41e00	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	春	コーディネータ 樋口 裕城	1	○	輪講、E1-1クラス対象 注1参照
	401102	ECN101-41e00	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	春	コーディネータ 南橋 尚明	1	○	輪講、E1-2クラス対象 注1参照
	401102	ECN101-41e00	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	春	コーディネータ 高橋 雅生	1	○	輪講、E1-3クラス対象 注1参照
	401102	ECN101-41e00	INTRODUCTION TO ECONOMICS	2	春	コーディネータ 中村 さやか	1	○	輪講、E1-4クラス対象 注1参照
	401103	ECN102-41j00	ミクロ経済学A	2	春	黒江 衍也	1		経済学科1年次生対象
	401103	ECN102-41j00	ミクロ経済学A	2	春	*岡崎 衡郎	1~4		経済学科生専修者、経営学科生、他学部他学科生対象
	401110	ECN103-41j00	マクロ経済学A	2	秋	中野 透	1		経済学科1年次生対象
	401110	ECN103-41j00	マクロ経済学A	2	秋	長江 充	1~4		経済学科生専修者、他学部他学科生対象、EMG54710経済学総論IIと合併
	401120	ECN104-41j00	マクロ経済学B	2	春	近藤 広紀	2		経済学科2年次生対象
	401120	ECN104-41j00	マクロ経済学B	2	春	*川上 実	2~4		経済学科生専修者、経営学科生、他学部他学科生対象





## 開講科目担当表[経済学科]

学科科目C群(選択科目)…52単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
<b>選択科目【専門科目・経済系】(中級理論)</b>									
選 科 目 分 野 I 群	462301	EN310-41j00	中級マクロ経済学	2	休講		2~4		2021年度以前に「中級マクロ経済学」(EE060100) 4単位を修得済みの学生は履修不可。注2参照
	407002	EN305-41j00	中級ミクロ経済学	2	春	金賀 浩平	2~4		注2参照
	407011	EN202-41j00	行動経済学	2	春	川西 謙	2~4		[30名]、経済学科生優先
	407407	EN287-41j00	中級計量経済学	2	春	長江 光	2~4		[60名]、経済学部生優先。計量経済学 I または INTRODUCTION TO ECONOMICS を修得済みであること、実践的データ分析との重複履修不可
	407407	EN287-41j00	中級計量経済学	2	秋	長江 光	2~4		[60名]、経済学部生優先。計量経済学 I または INTRODUCTION TO ECONOMICS を修得済みであること、実践的データ分析との重複履修不可
<b>(統計・数学)</b>									
	407214	EN258-41j00	繊形経済数学	2	春	末島 愛子	2~4		理工所属履修不可
	407221	EN259-41j00	経済分析の数理	2	秋	末島 愛子	2~4		
	408022	EN309-41j00	計量時系列分析入門	2	春	竹内 明香	3~4		[100名]、2021「計量ファイナンス」との重複履修不可。経済学科生優先。注2参照
	408210	EN234-41j00	経済統計論 I	2	春	*伊藤 伸介	2~4		[150名]、経済学科生優先
	408211	EN235-41j00	経済統計論 II	2	秋	*伊藤 伸介	2~4		[150名]、経済学科生優先
<b>(政策・金融・日本経済)</b>									
	408207	EN233-41j00	農業政策の経済学	2	秋	*西原 是良	2~4		注2参照
	408011	EN109-41j00	証券データ分析	2	秋	竹内 明香	2~4		[100名]、経済学科生優先
	497974	EN255-41j00	パンキング基礎演習	2	春	*柳川 俊彦 *木田 和謙	2~4		[30名]、金融論 I を履修済であること、経済学科3年生優先、および銀行連携講座
	408850	EN241-41j00	マクロ経済情勢	2	春	*上野 賢一	2~4		[150名]、経済学科生優先
<b>(労働・社会保障)</b>									
	498001	EN256-41j00	少子化的経済分析	2	春	出島 敏久	2~4		
	498002	EN257-41j00	人口と成長の経済分析	2	休講		2~4		
	407517	EN227-41j00	社会問題の経済分析	2	春	長江 光	2~4		[150名]、経済学科生優先
	407515	EN226-41j00	医療経済学	2	春	*大根 裕美	2~4		
	408122	EN229-41j00	特別講義 (都市と地域の経済 I)	2	春	*藤原 敬	2~4		
	408123	EN230-41j00	特別講義 (都市と地域の経済 II)	2	秋	*藤原 敬	2~4		
<b>(経済発展)</b>									
	467920	EN247-41j00	アジア開発経済論	2	秋	ブテンカラム ジョンジョセフ	2~4		
	467412	EN246-41j00	特別講義 (開発援助論)	2	3Q	*八林 審明 *福田 幸正	2~4		
	467955	EN249-41j00	特別講義 (貧困とコミュニティの経済学 I)	2	春	*竹西 敬	2~4		
	467956	EN250-41j00	特別講義 (貧困とコミュニティの経済学 II)	2	秋	*竹西 敬	2~4		
	498014	EN276-41j00	Poverty IN THE GLOBAL ECONOMY	2	春	*高松 神也	2~4	○	SPSFコース科目、注3参照、㊁
	498015	EN268-41j00	ASIAN ECONOMY	2	春	*茂原 康太	2~4	○	SPSFコース科目、注3参照、㊁
	498016	EN269-41j00	AFRICAN ECONOMY	2	休講		2~4	○	SPSF科目、注3参照、㊁
	BGS54200	ICP314-21j00	開発経済学	4					(他) 総合グローバル学修、注2参照
	BGS54300	ICP315-21j00	グローバル化と発展途上国	4					(他) 総合グローバル学修、題「グローバル化と発展途上国1」「グローバル化と発展途上国2」、注2参照
	GSP21220	ENG223-02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A1	2					(他) 全学共通科目、注7参照、㊁
	GSP21230	ENG224-02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B1	2					(他) 全学共通科目、注7参照、㊁
	GSP21240	ENG225-02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A2	2					(他) 全学共通科目、注7参照、㊁
	GSP21250	ENG226-02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B2	2					(他) 全学共通科目、注7参照、㊁
<b>(その他)</b>									
	467957	EN251-41j00	ALS (アクティブ・ラーニング・セミナー)	2	春	長江 光	2~4		[30名]、経済学部2・3・4年次生のみ履修可、経済学部2年次生優先。注3参照
	467957	EN251-41j00	ALS (アクティブ・ラーニング・セミナー)	2	秋	近藤 広紀	2~4		[30名]、経済学部2・3・4年次生のみ履修可、経済学部2年次生優先。注3参照



開講科目担当表[経済学科]

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国语	備考
<b>(その他)</b>									
	4350101	MAN202-42x00	経営会議 I	2					(他) 経営学科
	4350111	MAN204-42x00	経営会議 II	2					(他) 経営学科
	467962	MAN226-42x00	経営英語 (BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2					(他) 経営学科
	432030	MAN205-42x00	経営英語 (INTERNATIONAL BUSINESS)	2					(他) 経営学科
	466051	MAN206-42x00	ESPECIALLY TOPICS IN MANAGEMENT 1	2					(他) 経営学科
	468045	MAN333-42x00	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENT 2	2					(他) 経営学科
	854899	ENG122-01x00	CRITICAL THINKING AND BUSINESS COMMUNICATION	2					(他) 言語教育研究センター、注3参照
	854900	ENG222-01x00	CRITICAL THINKING AND BUSINESS COMMUNICATION	2					(他) 言語教育研究センター、注3参照
	854901	ENG121-01x00	CRITICAL THINKING AND PRESENTATIONS	2					(他) 言語教育研究センター、注3参照
	854902	ENG221-01x00	CRITICAL THINKING AND PRESENTATIONS	2					(他) 言語教育研究センター、注3参照
	854903	ENG123-01x00	CRITICAL THINKING IN NEGOTIATIONS	2					(他) 言語教育研究センター、注3参照
	854906	ENG120-01x00	CRITICAL THINKING IN NEGOTIATIONS	2					(他) 言語教育研究センター、注3参照
	854909	ENG120-01x00	CIVILIAN INSTITUTE THROUGH BUSINESS	2					(他) 言語教育研究センター、注3参照
	854910	ENG220-01x00	CIVILIAN INSTITUTE THROUGH BUSINESS	2					(他) 言語教育研究センター、注3参照
	440201	MU1201-42x00	経営基礎研究セミナー I	2					(他) 経営学科
	440202	MU1202-42x00	経営基礎研究セミナー II	2					(他) 経営学科
	467453	MU1203-42x00	経営基礎研究セミナー III	2					(他) 経営学科
	290210	SSN204-84x00	社会実習 I	2					(他) 共通実習科目
	467456	TCP201-41x00	職業指導 I	2	休講		2・3		隔年開講、教科に関する科目 (教職修習者用の科目 : 商業)
	467457	TCP202-41x00	職業指導 II	2	休講		2・3		隔年開講、教科に関する科目 (教職修習者用の科目 : 商業)
	Course:10 (International Business and Economics) で開講されている科目								2~4 (他) 国際教養学部、前掲科目あり、注4参照
	他学部他学科科目								他学部他学科開講科目担当表を参照
	課程科目 (実習を除く)								他学部他学科開講科目 (実習を除く) をよく読むこと。
	全学共通SAMISプログラム科目								他学部他学科開講科目 (実習を除く) をよく読むこと。

\*備考欄の「(他)」は他学部他学科開講科目であるが、自学科の科目として扱うことができる。

\*注1: 共通実習科目は、注2と併せて「(他)」と記載する。※履修登録をすることができる。

注2: 「(他)」欄の上に注記の「(3)、(3) 学科科目に関する注意」をよく読みここと。

注3: 以下の前掲科目に位置する科目。担当教員が毎年度替わるので、内容はシラバスで確認すること。経営学科生優先。

注4: 前掲科目があるので、Loyola上りのラベルを確認すること。受講資格や登録方法についても、履修要覧 (ガイド・資料編) をよく読むこと。また、以下の科目は卒業単位に含まれない。

PRINCIPLE OF MICROECONOMICS, PRINCIPLES OF MACROECONOMICS, PRINCIPLES OF MANAGEMENT

注5: 言語教育研究センター開講科目。履修にあたっては2025年度履修要覧 (学部科目編) - 語学科目をよく読むこと。

注6: 経営学英語特修プログラム登録者優先

注7: 全学共通科目。履修にあたっては2025年度履修要覧 (学部科目編) - 全学共通SAMISプログラム科目をよく読むこと。

●SPSFコース科目履修条件等に関する注記

注1: 履修にあたっては、AC-TEAP275点以上取得していることを推奨。履修登録はLoyolaから履修登録期間中に行う。

注2: 履修にあたっては、AC-TEAP275点以上取得していることを推奨。履修登録はLoyolaから履修登録期間中に行う。

注3: 履修にあたって、AC-TEAPスコアの制限なし。

注4: SPSF経営学英語特修プログラム申請者の順に優先。

## 経営学科

### 経営学科



- 経営学科について
- 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 2. 標準配当表
- 3. 履修上の注意
- 4. 経済学部・経営学英語特修プログラム（Faculty of Economics、Management in English Program）について（17年次生以降対象）
- 5. 開講科目担当表

## 経営学科について

### (教育研究上の目的)

高度な専門知識及び幅広い教養を身につけ、社会とのかかわりにおいて多様な視角から経営を理解し、実践していく能力を養うこと

### (人材養成の目的)

ローカル及びグローバルな社会との関連で経営を理解し、専門知識に基づいた合理的な意思決定を行うことによって、企業経営だけでなく、地域社会・国際社会などに貢献できる人材を養成すること

### (ディプロマ・ポリシー)

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. グローバル化・複雑化が進展していく経営環境を的確に分析するための知識や技能
2. 経営学の考え方や概念および専門的知識を理解し説明する能力
3. 現実社会における問題解決をリードするために、複雑で多様な情報を効率的に収集、処理し、問題解決へとリードする能力
4. 厳しい制約条件のもとで適切な意思決定をおこなうために、異質性や多様性を尊重する態度を持ち、オープンでフェアな議論、および情報発信する能力
5. 高いレベルのコミュニケーション・スキルを身につけ、国際的な場でリーダーシップを発揮する能力

### (カリキュラム・ポリシー)

本学科では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 1年次においては必修科目「経営学概論I」および「経営学概論II」において、専門的な学修を進めていく上で身に付けておかなければならぬ学修スキル、専門基礎知識、コミュニケーション能力、論理的な考え方、社会的な倫理観を修得させる。
2. 専門科目、および演習（ゼミ）において専門的知識を深め、現代社会の問題を解決するための能力を修得させる。
3. 1年次の「経営学概論I」、2年次の「経営基礎研究セミナー」、3・4年次の演習と、4年間を通じた小人数科目で、主体的に学習に取り組む態度を身につけ、コミュニケーション・スキルの向上を目指す。
4. 実務経験者や実務家による現実的な実務感覚を養う科目、および実際のビジネスの現場を学ぶ科目を開講する。
5. 国際的な場で活躍できるように、ネイティブによる英語科目、「経営英語」「Special Topics in Management」を通じ、ビジネスコミュニケーション・スキルを修得させる。
6. 専門的な知識を英語で理解する科目を選択必修科目に設置する。

7. 一定の条件を満たした学生にプログラム認定を行う経済学部・経営学英語特修プログラム（Faculty of Economics, Management in English Program）を設ける。

## 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

### 22年次生以降

#### 全学共通科目

必修	8単位	[キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
選択必修	6単位	[キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
選択	12単位	
合計	26単位	

#### 合計

合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
----------------------	-------

#### 語学科目

必修	4単位
合計	4単位

#### 学科科目

合計（必修科目4単位、語学科目選択必修4単位、選択必修科目46単位、選択必修科目および選択科目40単位）	94単位
--	------

### 18～21年次生

#### 全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位（高学年向け教養科目2単位含む）	
合計	26単位	

#### 合計

合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
----------------------	-------

#### 語学科目

必修	4単位
合計	4単位

## 学科科目

合計(必修科目4単位、語学科目選択必修4単位、選択必修科目46単位、選択必修科目および選択科目40単位)	94単位
--	------

## 2. 標準配当表

[経営学科] 標準配当表

22次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(必修) キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」 身体のリベラルアーツ 思考と表現 データサイエンス概論 課題・視座・立場性を考える	1						
		1						
		2						
		2						
	(選択必修) キリスト教人間学	2						
	(選択必修) 高学年向け科目							4
※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる（注1） ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される								

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	(必修) ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2						
		2						

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	(必修) 英語以外の指定された同一言語 (注1)	4						
	(必修) 経営学概論 I 経営学概論 II	2						
		2						
	(選択必修) 選択必修科目から46単位以上を修得する。							
	(選択必修) 選択科目から40単位以上を修得する。 経営学科の開講科目担当表に記載された科目以外の、次の①～③の単位を修得した場合、最高20単位までを選択科目の単位として算入することができる。（注2） ①他学部他学科科目 ②課程科目（実習を除く） ③学科が指定した全学共通SAIMSプログラム科目 ※全学共通SAIMSプログラム アドバンストコース科目（ビジネスデータ分析理論（データサイエンス基礎）、データ活用と経営戦略（データサイエンス基礎） ④語学科目は4単位まで卒業単位に充当できる。（注1）							

(注1) 学科ごとの指定言語および語学科目の履修方法については、2025年度履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目の履修上の注意を参照。

(注2) 全学共通科目については、2025年度履修要覧【学部科目編】-グローバル教育センター-実践型プログラムを参照。

なお、他学部他学科科目・課程科目（実習を除く）・学科が指定した全学共通科目をあわせて20単位まで選択科目に算入できるが、学科が指定した全学共通科目については、12単位を算入の上限とするので注意すること。

〔経営学科〕標準配当表

18~21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(必修) ウエルネスと身体	2						
	(選択必修) キリスト教人間学	4						
(選択) ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)	高学年向け教養科目		2					

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	(必修) ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2						

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	(選択必修) 英語以外の指定された同一言語(注1)	4						
	(必修) 経営学概論 I 経営学概論 II	2 2						
(選択必修) 46単位	選択必修科目から46単位以上を修得する。							
	(選択) 40単位	選択科目から40単位以上を修得する。 経営学科の開講科目担当表に記載された科目以外の、次の①~③の単位を修得した場合、最高20単位までを選択科目の単位として算入することができる。(注2) ①他学部他学科科目 ②課程科目(実習を除く) ③学科が指定した全学共通科目 ※全学共通SAIMSプログラム科目 ※データサイエンスプログラム基礎科目(ビジネスデータ分析理論、データ活用と経営戦略) ※データサイエンスプログラム アドバンストコース科目(データ活用と経営戦略(データサイエンス基礎)、ビジネスデータ分析理論(データサイエンス基礎)、AIのセオリーから(ビジネス)プロダクションへ(2024年度まで)) ④語学科目は4単位まで卒業単位に充当できる。(注1)。						

(注1) 学科ごとの指定言語および語学科目の履修方法については、2025年度履修要覧「学部科目編」-語学科目-語学科目の履修上の注意を参照。

(注2) 全学共通科目については、2025年度履修要覧「学部科目編」-グローバル教育センター-実践型プログラムを参照。

なお、他学部他学科科目・課程科目(実習を除く)・学科が指定した全学共通科目をあわせて20単位まで選択科目に算入できるか、学科が指定した全学共通科目については、12単位を算入の上限とするので注意すること。

### 3. 履修上の注意

#### ①学科科目の所要単位数に関する注意

- 1) 選択必修科目に指定された学科科目は、できるだけ多く履修することが望ましい。
- 2) 選択必修科目については、卒業に必要な規定単位数（46単位）以上修得したとき、その超過分は選択科目として認められる。
- 3) 演習については、経営学科の演習の代わりに経済学科の演習を選択必修科目として履修することができる。その場合「経済学総論I」「経済学総論II」の単位を修得していることが望ましい。
- 4) 同一科目を重複して修得しても、卒業要件として認められるのは、1科目のみである。同一科目であるという基準は原則として以下の通りである。（同一科目対照表参照および同内容科目対象表）  
【ア】科目名（含サブタイトル）が同じである場合。  
【イ】備考欄に「同内容、同一講座」等の注記が記載されている場合。

#### ②履修年次に関する注意

1. 学科科目の選択必修科目および選択科目の履修年次については、開講科目担当表の中に示されている履修年次を標準とする。
2. 演習科目については、各演習およびRESEARCH SEMINARの配当年次は以下のとおりとする。

	履修年次
演習1 またはRESEARCH SEMINAR 1	3年次
演習2 またはRESEARCH SEMINAR 2	3年次
演習3 またはRESEARCH SEMINAR 3	4年次
演習4 またはRESEARCH SEMINAR 4	4年次

演習は同じ教員が担当することを履修すること。また、「演習2」は「演習1」を、「演習3」は「演習2」を、「演習4」は「演習3」を修得した者が履修できるものとする。RESEARCH SEMINARを履修する場合にも、同じ教員が担当するものを履修すること。また、「RESEARCH SEMINAR 2」はRESEARCH SEMINAR 1」を、「RESEARCH SEMINAR 3」は「RESEARCH SEMINAR 2」を、「RESEARCH SEMINAR 4」は「RESEARCH SEMINAR 3」を修得した者が履修できる。

#### ③学科科目に関する注意

- 1) 経営学科の開講科目担当表に記載された科目以外の他学部他学科科目・課程科目（実習を除く）・学科が指定した全学共通科目（全学共通SAIMSプログラム科目、データサイエンスプログラム基礎科目および指定のデータサイエンスプログラムアドバンストコース科目のみ）の単位を修得した場合、最高20単位までを選択科目の単位として算入することができる。ただし、学科が指定した全学共通科目を学科科目に算入する場合は、12単位を算入の上限とするので注意すること。
- 2) 語学科目は、最高4単位までを学科選択科目の単位として算入することができる。
- 3) 経済学科開講の「経営学総論」、「マクロ経済学A」、「ビジネス・エコノミクスI（経済学科）」および「ビジネス・エコノミクスII（経済学科）」は、経営学科の学生は履修できない。
- 4) 「ビジネス・エコノミクスI（経営学科）」を履修する場合は、「経営学概論I」と「経営学概論II」の単位を修得し、「経済学総論I」と「経済学総論II」の2科目のうちのいずれかを修得していること。「ビジネス・エコノミクスII（経営学科）」を履修する場合は、「ビジネス・エコノミクスI（経営学科）」を履修していること。

5) 選択科目（C群）のうち、以下の経済学科開講科目を履修する場合は、履修登録までに「経済学総論I」「経済学総論II」の2科目の単位を修得していることが望ましい。

国際貿易論I	計量経済学I
国際貿易論II	計量経済学II
金融論I	中級ミクロ経済学
金融論II	中級マクロ経済学
財政学I	労働経済学I
財政学II	労働経済学II
	経済発展論

6) A・B・C各群に関する注意事項：科目履修度（必修科目、選択必修科目、選択科目）は、単位修得年度の履修要覧にしたがう。また、同一科目対照表および同内容科目対照表を必ず参照して重複履修をしないように注意すること。

なお、カリキュラム変更により、入学年次によって科目履修度が違う科目があるので、十分注意すること。

#### ④語学科目に関する注意

語学科目（必修）および語学科目（選択必修）は、1年次のうちに修得することが望ましい。語学科目選択必修（英語以外の指定された同一言語）については、2025年度履修要覧〔ガイド・資料編〕語学科目を参照して履修すること。

#### ⑤転部科学生が転部科以前に修得した経営学科科目の単位認定に関する取扱基準

転部科以前に修得した経営学科の学科科目の単位認定は20単位を限度とする。

#### ⑥年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計 (単位)
26	26	44	26	26	44	26	26	44	26	26	44	176

(注) 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

前学期までに教職課程・学芸員課程の履修申込手続きをした3年次生以上の者で、課程科目の履修により、登録単位数が学期別および年間最高履修限度を超えてしまう場合は、事前に許可を得ておかなければならない。履修登録前までに学科長に相談すること。

#### ⑦科目のナンバリング

開講科目担当表に記載された経営学科開講科目のナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、2025年度履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照すること。

分野名省略	分野名（英語）	分野名（日本語）
ECN	Economics	経済学
MAN	Management	経営学
ACC	Accounting	会計学
MRK	Marketing	マーケティング

## ⑥SPSFコース開講科目の履修に関する注意

2020年度秋学期より、本学では英語による学位取得プログラム“Sophia Program for Sustainable Futures (SPSF)”が新設され、経営学科では2022年度秋学期にSPSFコースを開設した。

「開講科目担当表」の「備考」欄に「SPSFコース科目」の表記がある科目は、このコースの対象科目である。語学要件の指定や履修登録手続きが異なる場合があるため、同表の欄外に記載している履修条件等を必ず確認のうえ、履修すること。

## ⑨同一科目対照表

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなし、これらの科目を重複して履修しても、卒業要件として認められるのは1科目のみである。

変更前	変更前	変更前	変更前	変更後	変更後	変更後	変更後
科目 コード	科目名	単位数	開講 年度	科目 コード	科目名	単位数	開講 年度
468042	マーケティング論特講I	2	～2024	468084	マーケティング論特講	2	2025～
467205	商法I	2	～2024	467206	商法	2	2025～
468006	公会計I	2	～2022	468011	公会計	2	2023～
438050	財務諸表論I	2	～2021	438051	財務会計I	2	2022～
438060	財務諸表論II	2	～2021	438061	財務会計II	2	2022～
433121	流通経済論	2	～2020	433122	流通論	2	2021～
468008	CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS	2	～2020	468068	CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS	4	2021～
437515	ORGANIZATIONAL BEHAVIOR I	2	～2019	468046	ORGANIZATIONAL BEHAVIOR	2	2020～
437611	ORGANIZATIONAL BEHAVIOR II	2	～2019	468047	ORGANIZATIONAL THEORY AND ANALYSIS	2	2020～
468021	STRATEGIC MANAGEMENT I	2	～2019	468052	STRATEGIC MANAGEMENT	2	2020～
468022	STRATEGIC MANAGEMENT II	2	～2019	468053	CORPORATE STRATEGY (ADVANCED)	2	2020～
468031	INTERNATIONAL BUSINESS I	2	～2019	468054	INTERNATIONAL BUSINESS	2	2020～
468032	INTERNATIONAL BUSINESS II	2	～2019	468055	GLOBAL STRATEGY (ADVANCED)	2	2020～
438004	FINANCIAL MANAGEMENT I	2	～2019	468034	MANAGEMENT	2	2020～

					ACCOUNTIN G 1		
438005	FINANCIAL MANAGEMEN T II	2	~2019	468035	MANAGEMEN T ACCOUNTIN G 2	2	2020~
468004	FUNDAMENT AL OF ACCOUNTIN G I	2	~2019	468050	FUNDAMENT ALS OF ACCOUNTIN G 1	2	2020~
468005	FUNDAMENT AL OF ACCOUNTIN G II	2	~2019	468051	FUNDAMENT ALS OF ACCOUNTIN G 2	2	2020~
432040	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMEN T I	2	~2019	468044	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMEN T 1	2	2020~
432041	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMEN T II	2	~2019	468045	SPECIAL TOPICS IN MANAGEMEN T 2	2	2020~
468000	GLOBAL MARKETING I	2	~2019	468048	GLOBAL MARKETING 1	2	2020~
468001	GLOBAL MARKETING II	2	~2019	468049	GLOBAL MARKETING 2	2	2020~
438113 438114	経営分析I 経営分析II	2 2	~2019	438115	経営分析	2	2020~
407406	実践的データ 分析	2	~2024	407407	中級計量経済 学	2	2025~
498009	INTRODUCTI ON TO DATA ANALYSIS	2	~2023	498040	INTRODUCTI ON TO ECONOMETR ICS	2	2024~
498029	ECONOMICS OF SOCIAL POLICY	2	~2023	498042	INTERMEDIA TE MICROECON OMICS	2	2024~
498028	QUANTITATI VE ANALYSIS OF SOCIAL ISSUES	2	~2023	498041	INTERMEDIA TE ECONOMETR ICS	2	2024~
498030	SPSF SEMINAR: MICROECON OMICS 1	2	~2023	498043	RESEARCH SEMINAR 1	2	2024~
498031	SPSF SEMINAR: MICROECON OMICS 2	2	~2023	498044	RESEARCH SEMINAR 2	2	2024~
498032	SPSF SEMINAR: MICROECON OMICS 3	2	~2023	498045	RESEARCH SEMINAR 3	2	2024~
498033	SPSF SEMINAR: MICROECON OMICS 4	2	~2023	498046	RESEARCH SEMINAR 4	2	2024~

498034	SPSF SEMINAR: MACROECON OMICS 1	2	~2023	498043	RESEARCH SEMINAR 1	2	2024～
498035	SPSF SEMINAR: MACROECON OMICS 2	2	~2023	498044	RESEARCH SEMINAR 2	2	2024～
498036	SPSF SEMINAR: MACROECON OMICS 3	2	~2023	498045	RESEARCH SEMINAR 3	2	2024～
498037	SPSF SEMINAR: MACROECON OMICS 4	2	~2023	498046	RESEARCH SEMINAR 4	2	2024～
498024	PUBLIC ECONOMICS 1	2	~2022	498039	ECONOMICS OF MARKET FAILURES	2	2023～
498011	TOPICS IN MODERN MACROECON OMICS	2	~2021	498025	INTERMEDIATE MACROECONOMICS	2	2022～
408021	計量ファイナンス	2	~2021	408022	計量時系列分析入門	2	2022～
462300	中級マクロ経済学	4	~2021	462301	中級マクロ経済学	2	2022～
402070	PUBLIC ECONOMICS I	2	~2020	498024	PUBLIC ECONOMICS 1	2	2021～
498012	MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY I	2	~2020	498019	MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY 1	2	2021
498013	MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY II	2	~2019	498020	MACROECONOMICS: THEORY AND POLICY 2	2	2020～2021
498003	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH I	2	~2019	498022	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH 1	2	2020～
498004	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH II	2	~2020	498023	SEMINAR-ECONOMICS AND GLOBAL HEALTH 2	2	2021～
462113	貿易政策の経済分析	2	2019	462112	国際貿易論 II	2	2020～
462112	国際貿易論 II	2	~2018	462113	貿易政策の経済分析	2	2019
408204 408205	農業政策の経済学 I 農業政策の経済学 II	2 2	2015～2018	408207	農業政策の経済学	2	2019～

## ⑩同内容科目対照表

下記の科目は科目名、担当者が違っても同内容科目とみなすので重複履修することはできない。

科目 コード	科目名	単位数	科目 コード	科目名	単位数	適用 年度
433460	マーケティング 戦略論I	2	468040	MARKETING STRATEGY 1	2	2021～
433461	マーケティング 戦略論II	2	468041	MARKETING STRATEGY 2	2	2021～
468067	国際会計	2	468062	INTERNATIONA L ACCOUNTING	2	2021～

## 4. 経済学部・経営学英語特修プログラム（Faculty of Economics、Management in English Program）について（17年次生以降対象）

2017年度以降の経営学科入学者は2年次以降に経済学部・経営学英語プログラムに登録することができる。登録は年1回とし、3年次以降に登録を行った場合でも、申請前に修得したプログラム該当科目的単位と成績は、プログラム申請により、修了要件に含めることができる。

以下の修了要件を満たした学生には、修了認定証（S）もしくは（A）を授与する。

修了認定証（S）は（1）（2）（3）の全ての要件を満たすことで授与される。

修了認定証（A）は（1）（2）の要件を満たすことで授与される。

1. 下記の対象科目（開講科目担当表にⒶもしくはⒷ／日と記載）から20単位以上履修する
2. そのうち成績の良い20単位の平均GPAが3.0以上あること
3. TOEFLiBT 72以上、TOEIC 750以上、TEAP 334以上、IELTS 5.5以上、英検準1級以上のいずれかの英語修了要件を満たすこと

### プログラム認定対象科目

#### <学科科目>

経営英語I（2単位）  
経営英語II（2単位）  
経営英語（BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY）（2単位）  
経営英語（INTERNATIONAL BUSINESS）（2単位）  
SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENT 1（2単位）  
SPECIAL TOPICS IN MANAGEMENT 2（2単位）  
ORGANIZATIONAL BEHAVIOR（2単位）  
ORGANIZATIONAL THEORY AND ANALYSIS（2単位）  
GLOBAL MARKETING 1（2単位）  
GLOBAL MARKETING 2（2単位）  
GLOBAL BRANDING（2単位）  
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS（4単位）  
STRATEGIC MANAGEMENT（2単位）  
PRINCIPLES OF MANAGEMENT（2単位）  
MARKETING STRATEGY 1（2単位）  
MARKETING STRATEGY 2（2単位）  
CONSUMER BEHAVIOR 1（2単位）  
CONSUMER BEHAVIOR 2（2単位）  
SPECIAL TOPICS IN MARKETING（2単位）  
PRINCIPLES OF MARKETING（2単位）  
FUNDAMENTALS OF ACCOUNTING 1（2単位）  
FUNDAMENTALS OF ACCOUNTING 2（2単位）  
MANAGEMENT ACCOUNTING 1（2単位）  
MANAGEMENT ACCOUNTING 2（2単位）  
INTERNATIONAL ACCOUNTING（2単位）  
FINANCIAL ACCOUNTING 1（2単位）  
FINANCIAL ACCOUNTING 2（2単位）  
PRINCIPLES OF ACCOUNTING（2単位）  
INTRODUCTION TO MANAGEMENT 1（2単位）  
ENTREPRENEURSHIP 1（2単位）  
ENTREPRENEURSHIP 2（2単位）  
ADVANCED STRATEGIC MANAGEMENT（2単位）  
ETHICS, ORGANIZATIONS AND SOCIETY（2単位）  
INNOVATION MANAGEMENT（2単位）  
GENERAL MANAGEMENT IN ACTION（2単位）（2023年度以降）  
CORPORATE STRATEGY（ADVANCED）（2単位）（2021年度以前）  
INTERNATIONAL BUSINESS（2単位）（2021年度以前）  
GLOBAL STRATEGY（ADVANCED）（2単位）（2021年度以前）

#### <全学共通（高学年向け教養科目）>（2022年度以前）

HOSPITALITY BUSINESS IN ASIA（2単位）  
GENERAL MANAGEMENT IN ACTION（2単位）

#### <言語教育研究センター科目>

ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A（2単位）（2021年度以前）  
ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B（2単位）（2021年度以前）  
ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE（2単位）  
ENGLISH FOR NEGOTIATIONS（1単位）（2023年度以前）  
ENGLISH FOR PRESENTATIONS（1単位）（2023年度以前）  
GENERAL BUSINESS ENGLISH（1単位）（2023年度以前）  
WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION（1単位）（2023年度以前）  
CRITICAL THINKING THROUGH BUSINESS ENGLISH（2単位）  
（2024年度以降）  
CRITICAL THINKING AND PRESENTATIONS（2単位）（2024年度以降）  
CRITICAL THINKING AND BUSINESS COMMUNICATION（2単位）  
（2024年度以降）  
CRITICAL THINKING IN NEGOTIATIONS（2単位）（2024年度以降）  
CRITICAL THINKING IN ACADEMIC SPEAKING（2単位）（2024年度以降）

**i** (㊱／日) とは、(English／日本語) で、教材はすべて英語、授業中使用言語は日本語の授業のこと。それ以外の科目は、教材も授業中使用言語も英語。

プログラム認定対象科目のうち、定員が設けられている抽選科目については、経営学英語特修プログラム登録者が優先されます。

## 5. 開講科目担当表

開講科目担当表[経営学科]

語学科目選択必修・・・4単位

履修度	科目コード	ナンパリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選科必修科目	語学科目		英語以外の指定された同一言語	4			1~4		該学科目選択必修として英語以外の指定された同一言語を報修すること。

学科科目A群（必修科目）・・・4単位

履修度	科目コード	ナンパリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目 学科科目A群	430411	MMI101-42j00	経営学概論 I	2	春	JOHNS Adam Lucas *吉田 直広	1	M1-1クラス ※再履修時には、入学時のクラスで履修すること。	
	430411	MMI101-42j00	経営学概論 I	2	春	地主 純子 *倉矢 匠	1	M1-2クラス ※再履修時には、入学時のクラスで履修すること。	
	430411	MMI101-42j00	経営学概論 I	2	春	細萱 伸子 *吉田 直広	1	M1-3クラス ※再履修時には、入学時のクラスで履修すること。	
	430411	MMI101-42j00	経営学概論 I	2	春	細萱 伸子 *倉矢 匠	1	M1-4クラス ※再履修時には、入学時のクラスで履修すること。	
	430412	MMI102-42j00	経営学概論 II	2	秋	*吉田 直広	1	M1-1クラス、M1-3クラス	
	430412	MMI102-42j00	経営学概論 II	2	秋	石井 昌宏	1	M1-2クラス、M1-4クラス、再履修者	









開講科目担当表[経営学科]

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国语	備考
<b>(その他)</b>									
選 択 科 目 C 群	467957	BCN251-41J00	ALS（アクティブラーニング・セミナー）	2					(他) 経済学科
	467456	TCP201-41J00	職業指導 I	2					(他) 経済学科、隔年開講教科に関する科目（教職修習者の用の科目：商法）
	467457	TCP202-41J00	職業指導 II	2					
	Course:IBE (International Business and Economics) で開講されている科目						2~4		(他) 国際教養学部、注2参照
	他学部他学科開講科目担当表を参照								
	選修科目（実習を除く）								他学部他学科科目、課修科目（実習を除く）、全学共通SAIMSプログラム科目、「ビジネスデータ分析理論（データサイエンス基礎）」、「データサイエンス基礎と実践的応用（データサイエンス基礎）」、「AIのセオリーから（ビジネス）プロダクションへ」をあわせて20単位まで選択科目に算入可。
	選修要覧【学部科目編】-グローバル教育センターに関するページを参照								
	全学共通SAIMSプログラム科目								
	GSID20380	IBE205_02J00	ビジネスデータ分析理論（データサイエンス基礎）	2	選修要覧【学部科目編】	全学共通科目に関するページを参照			
	GSID20260	IBE202_02J00	データ活用と経営戦略（データサイエンス基礎）	2	選修要覧【学部科目編】	「データ活用と経営戦略（データサイエンス基礎）」は12単位を算入の上限とする。			

\*備考欄の（他）は他学部他学科開講科目であるが、各学科の科目として扱うことができるもの

注1：履修要覧で記載する「経済学部選択科目」は「経済学部選択科目」を指すことを意味する。

注2：経済学部選択科目には、選修要覧（ガイド・資料集）をよく読むこと。

注3：言語教育研究センター開講科目は、選修要覧（ガイド・資料集）をよく読むこと。

注4：選修方法・条件・授業日程等は、シラバスおよびMy Sophia「大学掲示板」に掲載するので、選修希望者は必ず確認のこと。

注5：8月下旬に行われるため、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、参加はできるが卒業要件上ならない

注6：経済学部専門アカデミー修習者専用

注7：全学共通科目、セミナー開講科目を修得済みであること。

注8：全学共通科目、選修にあたっては2025年度選修要覧【学部科目編】-全学共通科目に関するページをよく読むこと。

注9：経済学部開講の選習科目、および経済学部SPF開講のRESEARCH SEMINAR科目の担当者については、経済学科の開講科目一覧表を確認すること。

●SPFコース科目履修条件等に関する注記

HSI：履修にあたっては、AC-TEAMで225点以上取得していることを推奨。履修登録はLoyolaから履修登録期間中にを行う。

\*「HSI」が付されていない科目は選習条件なし、Loyolaからの履修登録可。

## 開講科目担当表[経営学科]

## 海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンパリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選 択 科 目	学 科 科 目 C 群								
	N99224	SAC213-42e00	海外短期研修 (ピクトリア大学)	4	春集中	外川 拓	1~4	○	注1、2、3、4

注1：本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し、上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目的単位が付与される。

なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

注2：付与される単位は、「全学共通科目（選択科目）」もしくは「学科科目：学科科目C群」に充当される。語学科目には算入されない。

注3：評価はP（合格）・X（不合格）を使用する。

注4：短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

# 経済学部早期卒業制度について（SPSFコースを除く）

早期卒業とは、在学期間（休学期間を除く）が3年以上あり、所定の手続きを経て、3年次終了時または4年次春学期終了時をもって卒業すること（以下、それぞれ3年次3月卒業または4年次9月卒業という）をいいます。

## ① 早期卒業の要件

早期卒業をするためには、次の要件をすべて満たしていかなければなりません。

1. 本人が早期卒業を希望している。
2. 早期卒業時、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得している。
3. 早期卒業時に修得している総授業科目の成績評価が総合平均点（以下「GPA」という）で3.5以上ある。 GPAは、上智大学学則55条に基づいて算出するものとします。

## ② 早期卒業の登録および指導

早期卒業を希望する場合、早期卒業希望登録を行わなければなりません。

1. 早期卒業希望登録をするためには、次の要件をすべて満たしていかなければなりません。  
【イ】2年次終了時において、卒業に必要な修得単位数に算入することができる単位として本学において62単位以上を修得している。  
【ロ】前号の修得単位数に対するGPAが3.0以上である。
2. 早期卒業希望登録の手続きは、次のとおりです。  
【イ】My Sophiaの学科・専攻掲示板（2025年4月掲出予定）より所定書式の「早期卒業希望登録申請書」をダウンロードする。  
【ロ】「早期卒業希望登録申請書」に所属演習の指導教員（演習を履修していない場合には、所属学科長：以下「指導教員」という）の承認印を受けた上で、提出期限内に所属学科長に提出する。
3. 早期卒業希望登録後は、指導教員から履修指導を受けるとともに、学業の進捗状況を指導教員に随時報告し、適切な指導を受けなければなりません。

## ③ 希望する早期卒業時期の変更、早期卒業希望登録の取り消し

早期卒業希望時期の変更および早期卒業希望登録そのものを取り消す場合は、次の手続きを行う必要があります。

1. 卒業希望時期の変更は、所定書式の「早期卒業希望時期変更届出書」に指導教員の承認印を受けた上で、提出期限までに所属学科長に届け出る。
2. 早期卒業希望登録の取り消しは、所定書式の「早期卒業希望登録取消届出書」に指導教員の承認印を受けた上で、提出期限までに所属学科長に届け出る。

## ④ 早期卒業希望の再登録

当初3年次3月卒業を希望し、その後登録の取り消しを行ったものの、特段の事情があると所属学科長が判断した場合には、4年次4月に4年次9月の早期卒業希望登録を行うことができます。再登録を希望する場合は、事前に所属学科長の認定を受けた上で、所定書式の「早期卒業希望再登録申請書」を学科長に提出してください。

詳細は経済学部事務室（2号館11階2-1115a室）に問い合わせること。

提出書類	提出時期
早期卒業希望登録申請書	3年次の4月1日～4月25日

早期卒業希望時期変更届出書	3年次の秋学期履修登録期間の経済学部事務室業務日（2025年9月26日）まで
早期卒業希望登録取消届出書	(1)3年次3月卒業取消の場合 ：3年次の秋学期・第4クォーター科目履修中止申請期間（2025年12月2日）まで (2)4年次9月卒業取消の場合 ：4年次の春学期・第2クォーター科目履修中止申請期間（2025年6月16日）まで
早期卒業希望再登録申請書	4年次の4月1日～4月25日